

第2集が
リリース!!

GALE PRIMARY SOURCES

REFUGEES, RELIEF,
AND RESETTLEMENT

初期冷戦と脱植民地時代の難民関係の文書を電子化



Refugees in Africa

JOURNEY AMONG
THE HOMELESS

a country
by country
survey
ICARA
INTERNATIONAL
CONFERENCE
ON ASSISTANCE
TO REFUGEES
BY AFRICA

Refugees, Relief, and Resettlement: The Early Cold War and Decolonization

初期冷戦と脱植民地時代の難民関係文書

政府や民間の難民関係一次資料を電子化して提供するアーカイブシリーズ Refugees, Relief, and Resettlement の第2集は、第二次大戦を挟む1930年代から1950年代までの時期を対象とする第1集に続き、1940年代後半から1970年代にかけての初期冷戦と脱植民地時代に焦点を当てます。

西側自由主義陣営と東側共産主義陣営が対峙した冷戦時代、アジアやアフリカの諸地域では東西両陣営の間でいわゆる代理戦争が繰り返られました。これに伴い、第二次大戦前後の時代におけるユダヤ人の移住に代表される大量の国外移住から、戦火を逃れて難民キャンプに避難する形態へ、難民発生の様態が変わりました。冷戦時代は民族解放運動、脱植民地化運動の時代でもありました。脱植民地化運動は様々な部族、民族、宗派によって推進されましたが、独立後の政治体制を巡り、これらの部族、民族、宗派間で対立が発生し、そこに米ソが介入することで紛争が複雑化し、多くの人々が居住地を追われ難民化しました。第2集では、英国政府省庁（外務省、植民地省等）、海外事業運営篤志団アメリカ協議会、米国連邦控訴裁判所の文書を通じて、初期冷戦と脱植民地時代における難民の発生と国際社会の対応を明らかにします。具体的に取り上げられるのはイギリスのインド撤退、インド・パキスタン分離独立、朝鮮戦争、インドシナ戦争、アルジェリア戦争、ハンガリー動乱、プラハの春、パレスチナ紛争、アンゴラ内戦等の事例です。

紛争や迫害で故郷を追われた人々が1億人を超え、過去10年間で2倍以上のペースで増加を続け、難民問題が国際政治に最も重くのしかかっている現在、その起源である20世紀半ばに難民が置かれた状況を理解する必要性はかつてないほど高まっています。本アーカイブは初の本格的な20世紀難民史デジタルアーカイブです。

収録コレクション

■ Refugee Records from the General Correspondence Files of the Political Departments of the Foreign Office, Record Group 371, 1947–1966

英国国立公文書館が所蔵する文書シリーズ FO 371（英外務省政務局一般書簡ファイル）から、1947年から1966年までの時期における難民関係資料（1,451ファイル）を収録します。イスラエル建国、中華人民共和国建国、朝鮮戦争、ハンガリー動乱、ベトナム戦争等を原因として発生した世界各地の難民の状況、難民に対する救援活動、ナチスの迫害を受けた犠牲者とその家族の運命を記録しアーカイブとして残す国際追跡事業（International Tracing Service）の活動、アラブ人難民によるイスラエルに対する補償請求等を記録します。

※第1集には FO 371 の1938年から1950年までのファイルが収録されています。

■ Refugee Records from the Foreign Office, 1947-1970

英外務省の政務局以外の諸部局（情報政策局、中東局、ドイツ・オーストリア管理局、アフリカ地域局、国連英国代表団等）の難民関係文書 434 ファイル（文書シリーズ FO 1006, FO 1013, FO 1014, FO 1020, FO 1032, FO 1052 等）を収録します。

■ Refugee Records from the Offices of the United Kingdom, 1947–1970

国防省、海軍本部、内閣府、内務省、植民地省、自治領省、英連邦関係省、大蔵省、貿易産業省、民間航空省、労働省、失業扶助庁、教育省等、外務省以外の英国政府省庁の難民関係文書 424 ファイル（CO 537, CO 822, CO 1048, DO 35, FCO 17, FCO 61, FCO 141, HO 294, HO 297, HO 352, LAB 13, T 220, T 221 等）を収録します。

■ Selected Records of the American Council of Voluntary Agencies for Foreign Service, 1942-1987

ラトカース大学図書館所蔵資料より、海外救援事業に関わる諸団体の連携協力、共同計画策定、情報交換を目的として1943年に創設された海外事業運営篤志団アメリカ協議会（ACVAFS）の理事会の議事録、覚書等の内部文書の他、会員団体・関連団体によるパンフレット、活動報告など2,122ファイルを収録します。様々な政治的立場、博愛的・宗教的信条などから世界各地の難民支援にあたったアメリカの民間団体による活動の一端が見える貴重な史料です。

■ Briefs Filed with Various Circuits of the U.S. Federal Appeals Courts on Refugees and Asylum

ニューヨーク市法曹協会図書館所蔵資料より、連邦控訴裁判所で争われた米国の難民・亡命政策に関わる裁判に提出された40件の控訴趣意書を収録します。冷戦期米国の難民・亡命政策に光を当てる興味深い史料です。

Refugees, Relief, and Resettlement シリーズ

第1集：強制移動と第二次大戦【2020年リリース】

Refugees, Relief, and Resettlement: Forced Migration and World War II

第2集：初期冷戦と脱植民地時代【2024年リリース】

Refugees, Relief, and Resettlement: The Early Cold War and Decolonization

第3集：国際赤十字赤新月社連盟【2025年リリース予定】

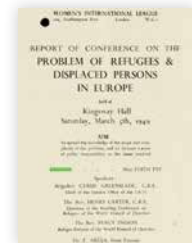
The International Federation of the Red Cross and the Red Crescent

Refugees, Relief, and Resettlement: The Early Cold War and De

収録文書(例)

ヨーロッパ

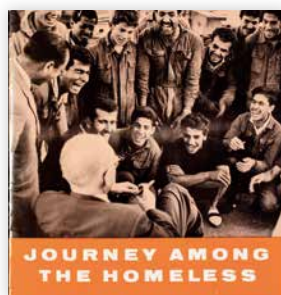
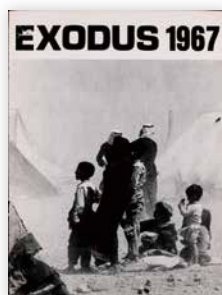
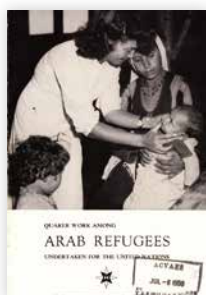
- ◆ ポーランド難民の諸外国への移民 (FO 371/71528, 1948)
- ◆ ジャマイカにおけるポーランド難民 (FO 371/71614, 1948)
- ◆ ポーランドの強制移住者のフォークランド諸島からアルゼンチンへの入国 (FO 371/74769, 1949)
- ◆ 東アフリカとレバノンにおけるポーランド難民：国際難民機関解散後の措置 (T 220/724, 1949-50)
- ◆ 東アフリカにおけるポーランド難民 (CO 822/2490, 1960-61)
- ◆ タンガニーカにおけるポーランド難民 (FO 371/183815, 1965)
- ◆ ポーランド系アメリカ人移民救援委員会—プログラムと報告 (ACVAFS) (1967-77)
- ◆ 連合国救援復興機関 (UNRRA)：ハンガリー (ACVAFS) (1947)
- ◆ ハンガリー強制移住者：政策 (FO 1052/36) (1948-50)
- ◆ ハンガリー難民の英国受入れ：内務省声明 (FO 371/122398/10110/772, 1956)
- ◆ ハンガリー難民のユーゴスラビア入国：英米のユーゴスラビア政府へのアプローチ (FO 371/122386/10110/438, 1956)
- ◆ 状況報告：オーストリアのハンガリー難民からの情報 (FO 371/122387/10110/470, 1956)
- ◆ ハンガリーにおけるソ連の行動：ハンガリー難民を支持する示威行動に関する欧州評議会の覚書 (FO 371/122395/10110/686, 1956)
- ◆ オランダにおけるハンガリー難民 (FO 371/124778, 1956)
- ◆ ハンガリーへの帰還を望むハンガリー難民に関するオーストリア政府の措置 (FO 371/127702/22/73, 1957)
- ◆ ハンガリー難民問題協議のための国連難民基金 (UNREF) 執行委員会会議：決議文 (FO 371/127704/22/131, 1957)
- ◆ ユーゴスラビアにおけるハンガリー難民 (FO 371/137047, 1958)
- ◆ 英国におけるハンガリー難民と強制移住者 (FO 371/143061, 1959)



左から国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) の統計報告『ドイツの難民』(1956) の一部で、縦軸に州、横軸に増加・減少要因をとり、難民増減数を表にしたもの (FO 371/121169)。英国政府の要請を受け、12,615 人のハンガリー難民をオーストリアから英国に移送したことを伝える欧州移民政府間委員会 (Intergovernmental Committee for European Migration) の声明 (T 221/476, 1956-57)。ヨーロッパ志願労働者 (European Volunteer Workers) と扶養家族の国籍別統計 (HO 352/31, 1951-56)。ヨーロッパ志願労働者とは、第二次大戦後の労働力不足解消策の一環として、東欧等の大陸ヨーロッパ人難民をリクルートする英国政府の「西へ向かえ作戦 (Operation Westward Ho)」で英国に渡り、就業した労働者のこと。国際女性平和自由連盟主催の欧州における難民・強制移住者問題に関する会議 (1949) の議事録 (FO 371/78190)。

中東

- ◆ 国連パレスチナ難民救済機関 (UNRPR)：英国政府の貢献 (T 220/147, 1949-50)
- ◆ イスラエル経由でのガザ地域からヘブロンへのアラブ難民の移動：ガザのパレスチナ難民のシナイでの定住 (FO 371/82256, 1950)
- ◆ パレスチナのアラブ難民の再定住と雇用の要求に対する各国政府の対応 (FO 371/82239, 1950)
- ◆ イスラエル・エジプト講和交渉：イスラエルからエジプトへのアラブ難民の追放 (FO 371/82200, 1950)
- ◆ アラブ難民のための国連パレスチナ難民救済事業機関 (UNRWA) 雇用庁のベイルートにおける設立 (FO 371/91418, 1951)
- ◆ パレスチナ出身アラブ難民の教育に関する事実と数字 (FO 371/91419, 1951)
- ◆ 中東のアラブ難民の窮状を軽減するための UNRWA の活動：教会を含むボランティア組織の活動 (FO 371/98505, 1952)
- ◆ アラブ難民の再定住：シリアとヨルダン再定住計画 (FO 371/98512, 1952)
- ◆ イスラエル政府のパンフレット『パレスチナ難民』とその他の刊行物 (FO 371/110870, 1954)
- ◆ 中東におけるパレスチナ難民の再定住：1954 年の ANRWA 年報 (FO 371/110866, 1954)
- ◆ ガザ地区とアラブ難民 (FO 371/115628, 1955)
- ◆ ヨルダン渓谷での難民再定住訓練に向けたムサ・アラミとアラブ開発協会の活動 (FO 371/115712, 1955)
- ◆ ガザ事件：ガザ攻撃後のパレスチナ難民の暴動 (FO 371/115898/1092/88, 1955)
- ◆ イスラエルの対アラブ難民補償に関するイスラエル・アラブ合意 (T 236/4424, 1955-59)
- ◆ シリア軍により徴兵されたパレスチナ難民 (FO 371/127872, 1957)

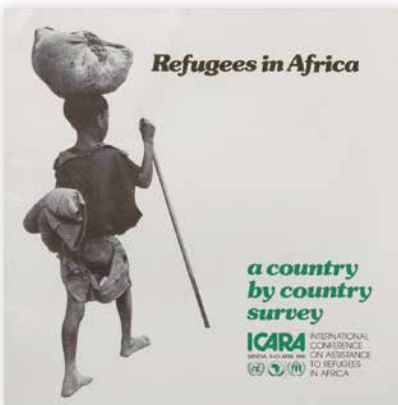


左から米国フレンズ奉仕団のアラブ難民救援活動を紹介するパンフレット (ACVAFS, 1943-76)。Friends of the Arab Refugees による写真集『エクソダス 1967 年：アラブ難民の物語』(FO 961/28)。国連パレスチナ難民救済事業機関 (UNRWA) の委託を受けてカナダ人レナード・W・ブロッキングトンがまとめたパレスチナ難民に関する報告書『家のない人々への旅』(FO 371/170259, 1963)。パレスチナ南部ハンユニスにクェーカー教徒の支援により建設された学校での授業風景 (ED 157/365)。

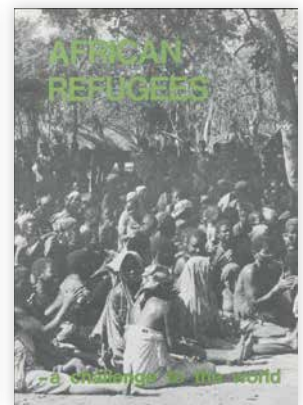
colonization

アフリカ

- ◆ ルアンダ=ウルンディ難民の東アフリカへの流入 (CO 822/2491, 1959-61)
- ◆ ベチアナランドにおける南アフリカ難民: 南アフリカ政府によるアフリカ人指導者の送還要求の可能性 (LCO 2/6966, 1960)
- ◆ ベルギー領コンゴからの難民 (FO 371/147279, 1960)
- ◆ ガーナ難民 (FO 371/97683, 1961)
- ◆ タンガニカにおける南アフリカ難民 (CO 822/2495, 1961)
- ◆ UNHCR 年報: アフリカにおける難民 (FO 371/172712, 1963)
- ◆ コンゴとブルンジにおけるルワンダ難民 (FO 371/172717, 1963)
- ◆ 南西アフリカ難民 (FO 371/178275, 1964)
- ◆ 北ローデシアにおける南アフリカ難民 (DO 183/442, 1964)
- ◆ コンゴにおけるスーダン難民 (1964)
- ◆ バストランド、ベチアナランド、スワジランドにおける南アフリカ難民とモザンビーク難民 (FO 371/182143, 1965)
- ◆ アフリカ統一機構とアフリカ難民問題 (FO 371/183819, 1965)
- ◆ 英連邦諸国における南アフリカ難民 (DO 176/65, 1966-67)
- ◆ 移民難民問題委員会: アフリカ難民プログラム (ACVAFS) (1980-81)
- ◆ UNHCR: アフリカ難民支援国際会議 (ACVAFS) (1981)



Country	Emergency Assistance to voluntary repatriation	Relief Assistance to voluntary repatriation	Relief Assistance to permanent resettlement	Infrastructure support projects	Total	Approved (%) of total programme
Algeria	-	-	-	-	-	1,658,800
Angola	-	13,242,500	14,780,000	-	28,022,500	4,621,000
Botswana	-	750,000	-	-	750,000	783,900
Burundi	-	38,188,067	1,471,113	11,816,148	48,675,328	11,881,100
Cameroon	-	3,431,334	-	38,871,114	42,302,448	13,493,800
Central African Rep.	-	1,788,500	-	1,500,000	3,288,500	382,400
Congo	-	7,000,000	-	-	7,000,000	28,000
Haiti/Lebanon	-	1,999,219	-	1,788,906	3,788,125	2,147,300
Kenya	-	3,871,308	31,188,800	-	35,060,108	2,148,100
Sierra Leone	-	not available	-	500,000	500,000	708,000
Nigeria	-	1,400,867	-	300,000	1,700,867	1,473,500
Libya	-	500,000	-	-	500,000	41,000
Mozambique	-	168,201	-	-	168,201	160,500
Morocco	-	20,870,000	-	850,000	21,720,000	798,000
Algeria	-	80,000	-	8,400,380	8,480,380	341,100
Senegal	-	not available	-	-	-	807,700
Sierra Leone	88,400,000	218,100,000	-	48,377,000	354,877,000	180,000
Sudan	4,941,200	40,537,500	3,477,800	122,083,000	171,041,500	41,841,000
Tanzania	-	80,000	-	1,170,100	1,250,100	2,148,000
Togo	-	8,000,000	-	7,000,000	15,000,000	6,570,100
Tunisia	-	3,025,330	1,000,000	-	4,025,330	1,148,000
Zaire	70,380,000	-	-	17,854,300	88,234,300	7,853,800
Zambia	-	3,750,000	-	-	3,750,000	1,960,400
Zimbabwe	-	3,824,800	-	3,000,000	6,824,800	30,000
TOTAL	88,211,200	425,297,477	81,822,555	512,715,360	868,126,792	200,823,300



左から 1981 年ジュネーブで開催された UNHCR のアフリカ難民支援国際会議 (ICARA) 向けの調査報告『アフリカの難民』(ACVAFS)。ICARA の報告書に付された支援策の金額を支援要請国別にまとめた表 (ACVAFS)。海外事業運営篤志団国際協議会 (ICVA) が 1981 年に発行した報告書『アフリカの難民: 世界への挑戦』(ACVAFS)。

南アジア・チベット

- ◆ インド: 難民と被拘留者: 要求の調整 (DO 35/4244, 1948-1958)
- ◆ シンド州における集団間の紛争: インドからシンド州に入国するムスリム難民への入国禁止措置 (FO 371/84241, 1950)
- ◆ ACVAFS 執行委員会: インドの食用穀物不足に関する決議 (1951)
- ◆ インドにおけるウイグル難民のためのパスポート発給機関 (DO 35/6441, 1954)
- ◆ パキスタンにおける難民問題 (DO 35/8958, 1958-1960)
- ◆ チベット難民への支援 (DO 35/8985, 1960)
- ◆ チベット難民の北インドから中国への送還 (FO 371/141617, 1959)
- ◆ インドにおけるチベット難民 (FO 371/153693, 1960)
- ◆ インドにおける東パキスタン出身のヒンズー教徒とイスラーム教徒の難民 (DO 196/379, 1964)
- ◆ チベット難民とアフリカ難民に関する UNHCR との協議 (FO 371/178511, 1964)
- ◆ チベット難民の調査のための UNHCR ロンドン代表のカトマンズ訪問 (FO 371/178263, 1964)
- ◆ インドからの難民 (DO 196/470, 1965-1966)
- ◆ 移民難民問題委員会: チベット難民 (ACVAFS) (1965-68)

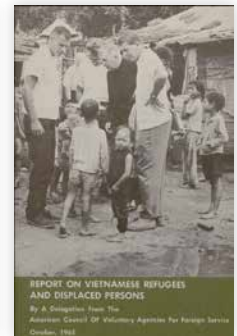


No.	Name of Camp	Sept 15 yrs.	Oct 15 yrs.	Total Sept 12-25	Oct 12-25	Total	Camp population
1.	Bairi (D.P.)	214	108	400	609	1009	2,004
2.	Chandni	124	91	135	25	375	782
3.	Shashani	20	32	81	97	200	290
4.	Shashani (S)	20	32	49	23	104	284
5.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	790
6.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	456
7.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	195
8.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	117
9.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	413
10.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	874
11.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	4100
12.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	77
13.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	651
14.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	5000
15.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	270
16.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	1000
17.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	117
18.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	150
19.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
20.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
21.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
22.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
23.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
24.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
25.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
26.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
27.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
28.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
29.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
30.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
31.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
32.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
33.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
34.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
35.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
36.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
37.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
38.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
39.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
40.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
41.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
42.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
43.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
44.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
45.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
46.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
47.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
48.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
49.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
50.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
51.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
52.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
53.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
54.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
55.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
56.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
57.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
58.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
59.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
60.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
61.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
62.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
63.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
64.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
65.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
66.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
67.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
68.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
69.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
70.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
71.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
72.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
73.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
74.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
75.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
76.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
77.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
78.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
79.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
80.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
81.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
82.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
83.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
84.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
85.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
86.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
87.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
88.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
89.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
90.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
91.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
92.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
93.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
94.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
95.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
96.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
97.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
98.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
99.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100
100.	Shashani (S)	20	32	81	97	200	100

左からパキスタンからインドに移動したものの、インドの不衛生な環境に耐えかねてパキスタンに戻るガロ族の人々 (DO 196/381, 1964-65)。1959 年 3 月 10 日のラサ蜂起 9 周年を記念する Tibetan Review の 1968 年 3 月号。ダライ・ラマの声明が掲載されている。(ACVAFS)。1962 年のインドと近隣国の難民キャンプに収容されているチベット難民に関する統計 (ACVAFS)。

東南アジア

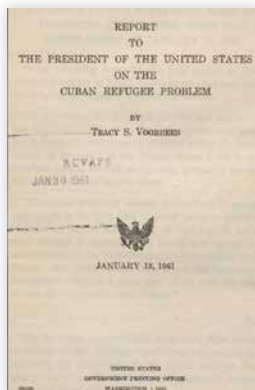
- ◆ 議事録：ウォーリア号：ベトナム難民のハイフォンからの避難 (ADM 1/25561, 1954-55)
- ◆ 北ベトナム難民の避難：費用 (ADM 1/25561, 1954-55)
- ◆ タイのベトナム難民 (FO 371/123665, 1956)
- ◆ ベトナムにおける難民支援 (FO 371/123523, 1956)
- ◆ タイから北ベトナムへの難民送還 (FO 371/160083, 1961)
- ◆ 移民難民問題委員会：インドシナ難民-ベトナム難民に関する報告 (ACVAFS) (1965)
- ◆ ベトナム難民・強制移住者報告 (ACVAFS) (1965-66)
- ◆ 移民難民問題委員会東南アジア児童小委員会-ベトナムにおける児童問題会議会議録 (ACVAFS) (1966-67)
- ◆ 南ベトナム：英国のベトナム難民緊急援助 (T 317/1115) (1968)
- ◆ 移民難民問題委員会-ベトナムにおける児童福祉に関する米上院外交関係委員会での声明 (ACVAFS) (1970-72)
- ◆ 移民難民問題委員会東南アジア児童小委員会-ベトナムの児童に関するサイゴン会議-書簡と覚書 (ACVAFS) (1973-75)



左からウォーリア号上のハイフォンから避難したベトナム難民 (ADM 1/25561, 1954-55)。筏からフランスの船に乗り込み、南部に向かう北ベトナムからの難民 (T 220/338, 1955)。ACVAFS 使節団のベトナム難民・強制移住者報告書 (ACVAFS, 1965-66)。

カリブ海沿岸地域

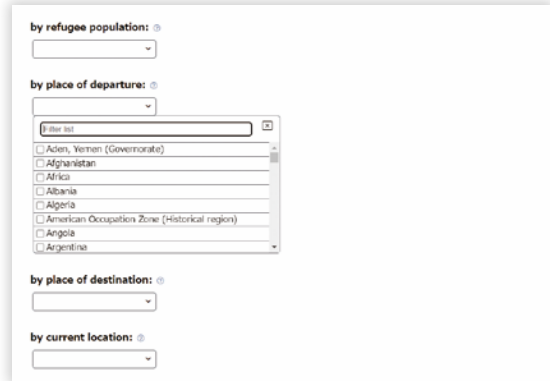
- ◆ 英領ホンジュラスへのグアテマラ難民の入国 (FO 371/74042, 1949)
- ◆ トリニダードにおけるベネズエラ政治難民に関する政策 (FO 371/97683, 1952)
- ◆ 英領ホンジュラスにおけるグアテマラ政治難民：引渡し条約の下での本国送還への動き (FO 371/108973, 1954)
- ◆ メキシコにおける政治難民の引渡しを求めるグアテマラの試み (FO 371/114271, 1955)
- ◆ ハイチとドミニカ共和国の政治関係：政治難民引渡しの拒否 (FO 371/114334, 1955)
- ◆ キューバ政治難民射殺事件を巡る大使館の外交特権侵害に対するハイチ政府のキューバへの抗議 (FO 371/126488, 1959)
- ◆ グアテマラ：健康状態のよい 5,000 人のヨーロッパの難民を受けれる用意 (FO 371/153684/1824/230, 1960)
- ◆ 英領ホンジュラスへの大規模な移民：1960 年 1 月 19 日の植民地省会議議事録 (FO 371/153675/1824/12, 1960)
- ◆ キューバ難民の政治的庇護 (FO 371/156236, 1961)
- ◆ 移民難民問題委員会：キューバ難民問題に関するアイゼンハワー大統領への報告 (ACVAFS) (1961)
- ◆ パハマのアンギラ島、サル島での事件：キューバ政府によるキューバ難民の拉致 (FO 277/269, 1964)
- ◆ パハマにおけるハイチ難民の問題 (FO 371/174255, 1964)
- ◆ 移民難民問題委員会：キューバ難民計画統計 (ACVAFS) (1966-67)
- ◆ 移民難民問題委員会：ハイチ難民 (ACVAFS) (1967-77)
- ◆ ハイチ難民のポジション：パハマへの移民と再定住問題 (CO 1067/6, 1968)
- ◆ 移民難民問題委員会：カーター大統領と政府高官へのキューバ難民に関する電信 (ACVAFS) (1980)



左から Tracy S. Voorhees の『キューバ難民問題に関する米国大統領への報告書』(ACVAFS, 1961)。1973 年 10 月から 1974 年 3 月までの難民の再定住国を難民の国籍別に示した欧州難民政府間委員会 (ICEM) 作成の表ではチリ人が突出して多い (ACVAFS, 1973-77)。



トップページ



詳細検索画面では、難民の人口、出身地、避難先、現在の居住地等で検索の絞り込みが可能



一字一句をフルテキスト検索、検索語はハイライト表示



電子目次では、マウスオーバーするだけで、文書に掲載されている写真等の画像がポップアップ表示



文書表示画面では手書き文書を含め、文書イメージとOCR/HTRテキストを左右見開きで表示することができます



統合検索プラットフォーム Gale Primary Sources では追加コストなしで導入済の Gale の買切データベースとの横断検索ができます

データベースの概要

- ◆ **収録文書**: 海外事業運営篤志団アメリカ協議会文書、外務省文書 (FO 371, FO 1006, FO 1013, FO 1014, FO 1020, FO 1032, FO 1052 他)、外務英連邦省文書 (FCO 17, FCO 61, FCO 141 他)、植民地省文書 (CO 537, CO 822, CO 1048 他)、自治領省 (DO 35 他)、内務省文書 (HO 294, HO 297, HO 352 他)、労働省文書 (LAB 13 他)、大蔵省文書 (T 220, T 221 他)、米国連邦控訴裁判所文書
- ◆ **収録文書のページ数**: 約 40 万ページの文書 (タイプ打ち原稿、手書き文書) (すべてフルテキスト検索に対応)
- ◆ **時期**: 1939 年～1987 年 (大半は 1947 年から 1970 年)
- ◆ **原資料所蔵機関**: 英国国立公文書館、ラトガース大学、ニューヨーク市法曹協会図書館
- ◆ **機能**: ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整のビューワ機能の他、印刷、PDF ファイルのダウンロード、OCR/HTR テキストのダウンロード、書誌自動生成、書誌情報のエクスポート、メール送信、ブックマーク、Google Drive / Microsoft OneDrive への保存、文書の主題の分布や検索語の出現頻度を視覚化する Topic Finder や Term Cluster 等。



すべてのコンテンツと機能をお試しいただける無料トライアルをご提供しております。
商品に関するお問い合わせは、センゲージラーニング株式会社までお願いします。

Tel : 03-3511-4390 E-mail : GaleJapan@cengage.com URL : www.gale.com/jp